

進化するまち「NEXT-吉祥寺」プロジェクト —実施状況と後期計画—

平成19年3月に吉祥寺のまちづくりの基本的な方向性とまちづくりの柱を定め、エリアごとのまちづくりの考え方を示した「吉祥寺グランドデザイン」が策定された。さらに「吉祥寺グランドデザイン」を踏まえ、多様な関係主体が協働で、体的かつ段階的に取り組むためのまちづくりの進め方を実行計画（前期）・展望計画（後期）として示した『進化するまち「NEXT-吉祥寺」プロジェクト（以下「NEXT-吉祥寺」という）』が、平成22年3月に策定され、これまで事業を進めてきた。「NEXT-吉祥寺」の策定から5年が経過し、一定の事業進捗が見られたことを受け、現在の実施状況を把握した上で、後期計画の取組み内容について整理した。

1 現在の実施状況と今後の取組み内容

協働による持続的な取組み		
整備方策	実施状況	今後の取組み内容
都市観光の推進	○平成22年度に武蔵野市観光推進機構を設立し、平成25年度に一般社団法人化。 ○平成26年度にJR吉祥寺駅構内にまち案内所開設。	○武蔵野市観光機構、まち案内所より、外国人旅行者を含む来街者への魅力発信を引き続き推進する。 ○公衆無線LAN等の情報環境整備を実施する。
魅力あるテナントの導入	○平成22年度にコピス吉祥寺が開店。 ○公社管理地を貸出し、創業支援や賑わい創出につながるチャレンジマルシェ事業を展開。	○チャレンジマルシェ事業などにより、熱意と独創性あふれる事業者を支援し、まちの活性化を図る。 ○平成28年度に予定されるコピス吉祥寺リニューアルにより、さらに魅力ある商業空間の創出を図る。
まちの快適化の推進	○まちなかの臭気対策を推進するため、商業ビル等の民間施設の下水ピットの交換・改修費を助成。 ○屋外広告物に関する現地調査を実施し、景観の普及啓発のシンポジウムを開催。	○助成事業により下水ピットの交換・改修を促進し、引き続き臭気対策を推進する。 ○平成27年度に策定予定の景観ガイドラインにおいて駅圏ごとの景観の方向性を示す。
自転車駐車場対策	○平成22年度に歩道上の自転車駐車場を閉鎖し、吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐車場を開設。 ○平成22年度にアトレ御殿山駐輪場の増床工事を助成。	○短時間無料制度導入等により既存駐輪場の有効活用を図りつつ、行政と事業者が連携した駐輪場の整備や運用、活用を引き続き進める。
荷さばき車輛対策	○吉祥寺方式物流対策委員会（平成25年度閉会）を中心とした、路上荷捌き車輛対策の実施。 ○荷さばきルール徹底週間の啓発活動、荷さばきカード事業及び共同集配送事業を実施。	○吉祥寺方式物流対策協議会を地元主体組織内に位置づけ、事業者をはじめとする各関係主体との連携強化と事業の推進を一層図る。
都市の持続性や環境への取組み	○JR吉祥寺駅改良事業及び京王吉祥寺駅ビル建替え事業に伴い、都市部ならではの新たな壁面緑化・屋上緑化を創出。 ○平成24年度に雨水活用条例を制定。	○既存の緑資源を活用しながら、緑の軸を意識した緑化の指導・誘導を行い緑空間の確保や連続化を図る。 ○雨水活用条例に基づき、水環境の保全・創出に関わる市民啓発活動事業、助成事業の強化に努める。 ○環境配慮措置について、開発事業者等と創エネ・省エネ・エネルギーの効率的な利用を図るよう調整する。
歴史的資源や文化自然の活用	○井の頭恩賜公園100年実行委員会に参加し、まち歩き事業における歴史散策ルートを設置。 ○平成25年度に吉祥寺の杜宮本小路公園を整備。	○平成29年度に迎える井の頭恩賜公園開園100周年に向け、公園にとどまらず、地元商店街等多様な主体が連携し、歴史的資源の活用を行う。
まちのルールづくり	○平成23年度にイーストエリアにおいて、地元協議会による「イースト吉祥寺のまちづくり方針」を策定。	○エリアごとの個性や魅力あるまちづくりを支援する。

フェーズ1 駅に関する取組み		
整備方策	実施状況	今後の取組み内容
JR吉祥寺駅改良	○北口駅舎前面の顔づくりとして、歩行環境を整備。 ○エレベーターの設置等、駅をバリアフリー化。	（事業完了）
京王吉祥寺駅ビル建替え	○平成25年度に京王キラリナ吉祥寺の建替え工事竣工。南口の出入り口部分に歩道状空地が整備され、駅とまちの一体性と安全性が向上。	（事業完了）
南北自由通路整備	○JR吉祥寺駅改良事業及び京王吉祥寺駅ビル建替え事業に合わせ、駅南北自由通路の拡幅・直線化が図られ、回遊性の骨格軸を明確化。	（事業完了）
駅周辺の歩き方マップ・サインの充実、駅の将来像のPR	○駅北口の各種サインを整理・集約し、公共交通乗り場や駅周辺施設等への誘導・案内をスムーズに行うため、平成26年度に駅前総合案内板を設置。 ○武蔵野市観光機構によりマップを作成し、外国人来街者への案内とあわせて啓発も実施。	○駅南口周辺施設等への誘導・案内情報を提供する。 ○まちなかに外国語表記の案内板の設置に向けた方策を推進する。
南口駅前広場整備	○都市計画区域約1,900㎡の地権者との用地交渉を実施。用地買収進捗率40.6%。	○地権者との用地交渉を継続する。 ○事業化に向けたプランの整理を行う。
北口駅前広場の機能更新交通体系の見直し	○平成23年度に吉祥寺駅前交通体系検討会議を設置し、北口駅前広場・市道第191号線を含めた駅周辺の交通体系の問題解決に向け、横断的な協議を実施。 ○吉祥寺駅改良事業に合わせ、平成25年度に駅前広場の一部機能更新工事を実施。	○北口駅前広場の機能更新を含めたバスやタクシー等の駅周辺の交通体系の検討・協議を継続する。

フェーズ2 まちの軸に関する取組み		
整備方策	実施状況	今後の取組み内容
市道第298、299号線の整備	○市道第298号線の用地買収率は66.9%、同299号線の用地買収率は26.6%。 ○用地買収済部分については、仮整備等を実施。	○引き続き地権者との用地交渉を継続。駅から図書館などの文化施設へのアクセス道路、イーストエリア内の核となる道路としての整備を継続する。
市道第190号線の整備	○用地買収率は71.4%。 ○平成25年度に地元商店会との意見交換会2回実施。 ○区域の明示のため、現況測量を実施。	○引き続き地権者との用地交渉を継続。駅からセントラルエリアへのアクセス道路、エリア内の核となる道路としての整備を推進する。
七井橋通り（市道第151号線）の整備	○用地買収率は77.4%。 ○景観整備路線事業計画として総延長215mのうち、南区間（約80m）を早期事業化路線とし、地元との意見交換を進めながら、平成25年度より電線共同溝設置工事を開始し、平成26年度は道路整備工事を実施。	○引き続き地権者との用地交渉を継続。駅から井の頭恩賜公園へのアクセス道路、井の頭恩賜公園等の景観、バリアフリーに配慮した整備を継続する。
広域的交通体系の見直し	○大部分が幅員不足である、女子大通りや五日市街道、井の頭通りの概成道路について、生活道路への通過交通流入の課題等解決のため、計画幅員通りの整備を東京都に要望。	○引き続き東京都に対して、計画幅員通りの整備を要望する。
回遊拠点の不足解消	○まちづくり条例に基づく協議により、歩道状空地や公開空地、広場等のオープンスペースを確保。	○民間ビルや道路空間等を利用し、回遊の核となるスペース確保の研究を行う。 ○まちづくり条例に基づく協議により、オープンスペースの確保を継続する。
平和通り（都道115号線）の再整備	○整備方策の研究・検討の実施。	○東京都やバス事業者との協議を含め、歩行者優先化を検証し、駅とセントラルエリアの連携強化を図る。
パークロード（市道第2号線）沿道の再整備	○沿道の老朽化建物の建物更新や共同ビル化の研究を行うために、平成25年度に駅前高度利用商業地域リニューアルまちづくり基礎調査を実施。	○南口駅前広場整備に合わせて、歩行者優先化を図る。 ○老朽化した建物のリニューアルや共同化を含む、駅前商業地の空間づくりに向けた方策を推進する。

フェーズ3 エリアに関する取組み		
整備方策	実施状況	今後の取組み内容
セントラルエリアのまちづくり	○沿道の老朽化建物の建物更新や共同ビル化の研究を行うために、平成25年度に駅前高度利用商業地域リニューアルまちづくり基礎調査を実施し、基礎データを整理。	○防災性の向上や「吉祥寺の顔ゾーン」としてまちの雰囲気づくりなどの観点から、老朽化した建物のリニューアルや共同ビル化の誘導等の方策を推進する。
ウエストエリアのまちづくり	○産業振興計画や都市計画マスタープランを踏まえた商業空間と居住空間との調和・融合を検討するとともに、地域のまちづくりルール策定に向けた相談や支援を実施。	○安全で快適な歩行空間・買物空間の形成等、商業地と住宅地が調和・融合した複合市街地の形成に向け、誘導や規制・緩和等を含めたまちづくり手法を検討する。
イーストエリアのまちづくり	○暫定自転車駐車場として利用していた市有地について、平成23年度に隣接地権者と土地を交換。 ○本町コミュニティセンターのバリアフリー化に合わせた市有地の共同ビル化、高度利用化の方策について、庁内関係課の検討を実施。	○環境浄化の取組みを着実に進めるとともに、新たな魅力向上に向けた方策を検討する。 ○暫定自転車駐車場を含む市有地の利活用・事業化の方策を検討し、早期整備を目指す。
パークエリアのまちづくり	○老朽化の進む武蔵野公会堂について、市全体におけるホール機能のあり方について検討を開始。 ○井の頭恩賜公園と一体化したエリアの魅力向上のため、将来像の研究及び市有地を含めた再整備の方向性を検討調査。	○市全体におけるホール機能のあり方を検証するとともに、エリアの課題解決を視野に入れ、公会堂を含めた面的な整備の可能性を検討する。 ○井の頭恩賜公園の雰囲気を感じられる商業地と居住地の調和・融合した複合市街地の形成に向け、公園へのアクセス強化を含めた歩行者空間の整備方策を検討する。

2 まちづくりの今後の展開イメージ

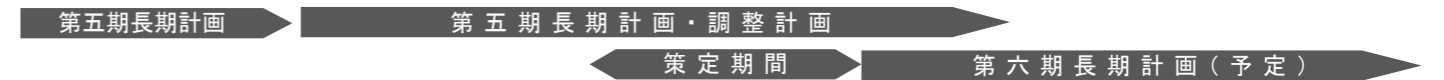


3 後期計画のスケジュール

「NEXT - 吉祥寺」のこれまでの実施状況の把握と今後の取組み内容の整理を行ったことを受け、平成26年度以降の取組みスケジュールを以下のとおり定める。



<長期計画のスケジュール>



4 まちづくりの実現に向けた今後の見通し

平成26年度から平成30年度までの後期計画期間については、これまでの取組みを継続し、早期に課題解決を目指す。一方、平成31年度以降については、吉祥寺を取り巻く環境、社会経済情勢、各施策との関連性及び新たな課題を踏まえ、吉祥寺のまちづくりの方向性を定める必要がある。

そのため、第六期長期計画の策定の際には、「NEXT-吉祥寺」の上位計画である「吉祥寺グランドデザイン」の見直しも視野に入れた時点的な整理を実施する。

発行	武蔵野市 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号
編集	武蔵野市都市整備部吉祥寺まちづくり事務所
発行年月	平成27年3月
	Tel : 0422-21-1118